



1学期終業式 校長講話より

夏休みの期間は、ことによると日常より新たな自分づくりをより意識をすることになるかもしれません。

明日は、1年生は登山です。例えば、私は家の子と登山によく行っていたのですが、例えば高校や大学への進学などの人生の節目で迷うとき、登山であったことを引き合いにしてどうすべきか考えることがあります。登山での体験は、あとになって私たちの生き方に何かの影響をすることがあるようです。2年生は職場体験学習、3年生は高校体験入学や懇談会を経て夏の学習に取り組む、などと、将来にかかわる学習をしようしているのですね。

さて、本日は雨で順延された高校野球の長野県大会の決勝が行われています。しばらく前の思い出話を少しさせていただきます。

私が担任を受け持った生徒の中に、目標としていた甲子園に念願叶って出場できた生徒がいます。体がしっかりしており、地区のクラブチームの中心選手として活躍した生徒ですが、部活以外のチームに所属していたために彼が野球をしている姿を直接見たことがありません。甲子園出場を果たすようなチームでは、ベンチ入りすることですら大変で、その中であって実力はあっても決して飛び抜けた選手というわけではありませんでした。

それは県大会の決勝戦だったと思います。終盤まで負けの苦しいゲームでしたが、彼は、チームの仲間の期待、監督の期待に応え、同点打を放ちました。試合後の監督インタビューで、その試合のいわばヒーローとなった彼のことを「日頃からよく取り組むので、ここの一番で期待に応えてくれると思った」と語りました。これが私には大変印象深かったのです。なぜなら、私が彼のことを入試にあたって高校の先生に紹介したとき、彼の日常生活から「ここの一番で期待に応える取り組みのよさ」が長所であると言っていたのですね。彼の野球を見ていなかった私です。でも、同じように監督が彼のことを評しインタビューに答えていたのですね。日常、それも中学校時代の日常と野球とがしっかりとつながっていた、そのように思っています。

それは考えてみれば当たり前で、言うまでもないことかも知れませんが、私たちの将来は今とつながっていると、実感します。

しかし、例えば「入試前になれば勉強できている」とか「社会人になるときはマナーが身につく」など、将来の君たちが勝負する時と、今とが、まるでつながっていないように感じている生徒が多い印象があると聞きます。「そのときが来れば自然にできるようになる」というわけではありません。先ほどお話しした野球の彼も、仲間や先生を大切に、また大切にされてきた良き日常があり、それが甲子園へとつながっていったのかな、と思うわけです。

繰り返します。私たちの将来は今とつながっているのです。自分の今をより充実させるのも夏休みだと思います。

夏休みは、身体の健康を整える、力不足を補う、頭や心の栄養をとるために普段できにくいことに取り組む、など、皆さんの今と今後にとってよい夏休みになりますよう願います。

保育実習

7月5日(水)に青木村保育園のご協力を得て、家庭科の授業として保育実習を行いました。

2歳から5歳までの幼児の皆さんと砂場やプールで遊んだり、折り紙を折ったりしながら一緒に過ごしました。2時間ほどの限られた時間ではありましたが、教科書では学ぶことのできない幼児の特徴を感じることができました。

青木村保育園の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



海外派遣説明会が行われました。

～マリスト・サイオン校訪問へ向けて～

姉妹校マリスト・サイオン校への訪問が近づいてきました。平成10年より始まった交流学习。今年度は8月2日(水)～12日(火)に、15名の生徒が訪問します。

7月は訪問へ向けて、英会話や訪問先での発表の練習を放課後に行いました。7月12日(水)には保護者の皆様にもご参加いただき、最終の説明会を行いました。訪問日が近づき、学習にもより一層力が入っていました。



全音入魂

～ 東信地区吹奏楽コンクール出場 ～

7月23日(日)吹奏楽部の皆さんが、東信地区吹奏楽コンクールB編成の部に臨み、銅賞を受賞しました。

昨年秋に先輩たちが引退した後、2年生6名の仲間で練習に励んできました。そして、この春、待望の1年生7名が入部。総勢13名となりました。音量も増し、音の広がりも更に豊かになりました。

コンクールで演奏した楽曲は「夢幻の如くなり」です。フルートのソロから始まる静かな中にも情熱が感じられる曲です。ソロを見事に吹き上げ、一人一人の音が会場に響き渡りました。

今後は村祭り、こまゆみ祭でのステージが待っています。更に各自の技量を上げ、響きのある音楽を目指します。



7/21(金) 壮行演奏会の様子

7月24日(月)に1学期の終業式を行いました。全校が一堂に会して70日余りの1学期を振り返りながら、この夏へ向けて各自の決意を新たに持つことができました。そして、翌25日(火)、26日(水)は、1学年は八ヶ岳登山、2学年は職場体験学習、3学年は進路・性教育講演会、三者懇談とそれぞれの学年ごとに1学期を総括し、夏季休業に入りました。

1 学年 八ヶ岳登山 ～ 一人はみんなのために、みんなは一人のために ～

当日はお天気が心配されましたが、計画した日程を早めに進めながら、ピラタス蓼科ロープウェイから八ヶ岳茶臼山頂上まで登ることができました。

統率係が活動の中心となって、自分たちの力で点呼、健康観察などを行う姿があり、集団行動を意識した動きが随所に見られました。一人一人が自立して頑張り、互いに声を掛け合い励まし合ってみんなで登頂したいという願いのもと、登山目標「One for all, all for one」を実現することができました。登山を通して培った学級の結束を、今後の学校生活へと生かして行ってほしいと願っています。



2 学年 職場体験学習 ～ 働く人の姿から学ぶ ～



2年生は職場体験学習を行いました。5月にグループごとに取り組んだ職場見学をもとに、一人一人の職場での体験学習へと臨みました。最初は動きもぎこちなかった生徒たちでしたが、各職場の皆様より温かなご指導をいただき、次第に積極的に動けるようになりました。今回の職場体験学習の目標は、働く人の姿から学び、働くことの意義を考えること。生徒は、指示された仕事に取り組みながら、各職場で働く皆さんの動きひとつひとつに注目し、働くことについて考えることができました。

3 学年 進路・性教育講演会

～ 生き方を考える ～

3年生は進路、性について学ぶ2日間でした。進路学習では、丸子修学館高校両角文秋校長先生、上田染谷丘高校宮崎清孝校長先生、上田千曲高校村松義晴教頭先生より各校の特色や高校生活で身に付けたい資質等についてお話いただき、今後の受験勉強、高校生活のイメージを更に具体的に持つことができました。

また、性教育講演会では、助産所とうみより助産師の藤沢佑子様、甘利さおり様にご来校いただきました。生徒は受精から誕生までのお話を伺ったり、妊婦体験をしたりしながら、一人一人の尊い生命や自分の将来等について考えることができました。



～ 資源回収について ～

今年も夏休み明けに行います。ご協力をお願いいたします。

(※ 詳細は、別紙配布プリントでご確認ください。)

【目的】 村民の生活の中で出る資源物を生徒が率先して回収し、文化祭や部活動をはじめとする生徒会の活動資金とさせていただきます。

【回収日】 平成 29 年 8 月 26 日 (土) 午前 (地区ごとに決められた時間)
※雨天の場合 8月27日(日)(朝6時に情報通信でお知らせします)

【回収物】 アルミ類、ビール瓶、一升瓶(これら以外は回収できませんのでよろしくお願いします)

※ビン類は、「キリンのみ」と「キリン以外」とに分けて、それぞれ「キリンのケース」「アサヒのケース」に回収してください。

※タイヤホイール、アルミサッシなど、アルミ製のものであれば

大小に関わらず回収できます。(ただしアルミ箔は不可)

※アルミ缶のつぶし方は右の写真のようにお願いします。

(縦方向にはつぶさないでください)



【その他】 回収日までご家庭での保管が難しい場合は、回収日前に中学校へご持参いただくことも可能ですので、よろしくお願いいたします。



22(火) 2学期始業式・地区生徒会

23(水) 3年総合テスト 発育測定 1年

24(木) 集金日 信大文学部受け入れ(～25(金)) 発育測定 2年

25(金) アイリスセミナー④

28(月) 集金日 発育測定 3年

31(木)漢字道場



【放射性物質検査結果について】

7月の学校給食用食材の「長野産セロリ」「茨城産ピーマン」から、放射性物質が検出されなかったことをお知らせします。